



石川県津幡町社協へメッセージ付きプレゼントを贈りました！

千葉県生協連では、能登半島地震被災地支援の一環として日本生協連「石川県社協＆全国生協メッセージ付きプレゼント企画」への呼び掛けに賛同、協力しました。

能登半島被災者の皆さんの多くが能登エリアの自宅から遠く離れた市町（石川県南9市町（金沢市・小松市・加賀市・かほく市・白山市・能美市・野々市市・川北町・津幡町））に避難されており、それぞれのエリアの「みなし仮設住宅」「公営住宅」にお住まいです。

そこでは、石川県からの委託を受けたそれぞれの市町社協の「地域ささえあいセンター」が、見守りやコミュニティづくりのために戸別訪問、サロンの開催などで、広域避難者の方達を心身共に支えていらっしゃいます。その市町社協さんの活動を同じく県から委託を受けた石川県社協の皆さんが支援しています。

日本生協連では「社協と生協が協働で被災された皆さんの笑顔につなげられたら」という気持ちを届けるために、石川県南9市町の広域避難者の皆さんにメッセージ付きプレゼントを贈る企画への賛同を、全国に呼び掛けました。

千葉県生協連会員生協に協力を依頼し、9月末に石川県の津幡町社会福祉協議会にメッセージ付きプレゼント100個を贈りました。会員生協の皆様から寄せられた想いのこもったメッセージカードを、パルシステム千葉「やっぱり石けん！キッチンスポンジ」と一緒にお届けしました。見守り活動の際に、避難されている方たちにお渡しいただく予定です。

